

令和6年度学校自己評価システムシート (県立鳩ヶ谷高等学校)

目指す学校像	総合制高校として3学科の特色を生かし、生徒一人一人が主体的に学ぶ力を育成する学校
--------	--

重点目標	1 生徒が実感できる確かな学力の向上 2 生徒一人一人の将来を見据えた進路指導の推進 3 メリハリのある生徒指導の徹底 4 地域との交流を深め、信頼される学校づくりの推進
------	--

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	5名
	生徒	3名
	事務局 (教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目 (年度達成目標を意味する。) は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価		
年 度 目 標				年 度 評 価 (令 和 7 年 2 月 5 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<p>【現状】教員の授業改善・ICT活用により、生徒の授業満足度が上がっている。</p> <p>【課題】授業アンケート結果をもとに各教科で具体的な授業改善を進め、生徒・保護者のニーズに合致した授業展開が望まれている。</p>	生徒が実感できる学力の向上	①年次研修や授業公開週間を活用し、教員間の授業研究・授業改善に取り組む。 ②ICTを活用して調べ学習、学習内容の発表、生徒同士の学び合いなどに取り組む。 ③各種資格取得を目指し、補習等の指導を行い、受験者の合格率を向上させる。	①他の教員の授業参観：2回以上 昨年度：2回以上参観者 54.0% ②授業の満足度の向上 昨年度：85.0% ③専門資格表彰者数 昨年度：情報処理科 74人 園芸デザイン科 31人	①他の教員の授業参観 2回以上参観者：40.0% ②授業の満足度の向上 今年度：88.2% ③専門資格表彰者数 情報処理科 67人 園芸デザイン科 32人	B	<p>【課題】ICTの活用等により授業満足度は向上した。引き続き生徒・保護者のニーズを確認しながら、効果的な授業が求められる。</p> <p>【改善策】老朽化したICT機器を入れ替えつつ、授業力向上と資格取得の推進を図っていく。</p>
2	<p>【現状】近年、大学への進学者が増加傾向にある。生徒一人一人の進路希望の実現に向け、学校全体で取り組んでいる。</p> <p>【課題】入試方法の多様化に伴い、基礎学力の向上に加えて自己表現能力の育成に早期から取り組むことが望まれている。</p>	生徒一人一人の将来を見据えた進路指導の推進	①進路に対する意識向上を図り、進路決定率を向上させる。 ②進路希望別 (朝、放課後、長期休業中) の補習や進路ガイダンス、小論文指導、分野別ガイダンス等を実施し、きめ細やかな進路指導を行う。 ③総合的な探究の時間等を利用し、外部講師を積極的に招致し、社会で信頼され活躍できる人間力を育てる。	①進路決定率 昨年度：95.9% ②進路指導の満足度 昨年度：74.0% ③外部講師を招き、生徒・教員・保護者への啓発ができたか。 外部講師の招致 昨年度：11回	①進路決定率 今年度：91% ②進路指導の満足度 今年度：74.3% ③外部講師招致数 今年度：19回/年	A	<p>【課題】大学入試の早期化・多様化が進んだため、進路指導方針の意思疎通と改善が求められる。</p> <p>【改善策】生徒・保護者、教職員で最新情報を共有し、早期より進路意識を高めていきながら、学力向上と自己表現力を育てていく。</p>
3	<p>【現状】挨拶や生活マナーなど身に付いている生徒が増えている。</p> <p>【課題】自転車の運転マナー等交通安全意識や規範意識の更なる向上が望まれている。</p>	自律心をもって善し悪しを判断できる生徒指導の実施	①挨拶・交通安全指導を継続し、自転車運転マナーや交通安全の意識向上に取り組む。 ②社会人として必要な挨拶やマナーの習得に積極的に取り組む。 ③生徒が自ら企画を立案するなど、学校行事満足度及び学校生活満足度の向上を目指す。	①年間交通事故件数の減少。 昨年度：10件/年 ②1日平均遅刻者数の減少。 昨年度：6.9人/日 身だしなみ等取組度の向上 昨年度：96.4% ③学校生活満足度の向上 昨年度：84.1% 学校行事の満足度の向上 昨年度：81.0%	①年間交通事故件数の減少。 今年度：9件/年 ②1日平均遅刻者数の減少。 今年度：8.7人/日 身だしなみ等取組度の向上 今年度：97.3% ③学校生活満足度の向上 今年度：90.0% 学校行事の満足度の向上 今年度：82.4%	B	<p>【課題】挨拶や身だしなみ等の規範意識は定着してきたが、遅刻者や自転車運転マナーに課題が残った。</p> <p>【改善策】規律やマナー意識を醸成させ、学校生活で身に付けた優しさや思いやりを基に、校内校外を問わず行動できるよう促していく。</p>
4	<p>【現状】コロナから解放されたことから、地域との交流事業等がコロナ以前の状況に戻りつつある。地元の中学生や保護者からの関心も少しずつ高まっている。</p> <p>【課題】引き続き様々な団体との連携を進め、生徒の自発的な活動を推進していきながら、地域に信頼される学校になることが望まれている。</p>	地域連携を通して、生徒が活躍できる場の提供	①PTA活動やボランティア活動等、地域との連携を深め、広報活動の充実を図る。 ②生徒による学校紹介等、中学生や保護者の関心高める学校説明会の実施。 ③学校の教育活動を、積極的に生徒・保護者・地域の方々に配信する。 ④授業公開日を増やし、本校の教育活動への理解を高める。参加者によるアンケート結果から更なる課題を入手する。	①学校からの情報発信の満足度 昨年度：83.3% 地域との交流回数 昨年度：9回/年 ②説明会の中学生・保護者参加者数 昨年度：計 1818人 ③学校ホームページの更新回数 昨年度：28.4回/月 ④授業の年間公開日数 昨年度：2日/年	①情報発信の満足度 今年度：89.1% 地域との交流回数 今年度：13回/年 ②説明会の参加者数 今年度：計 2938人 ③ホームページの更新回数 今年度：29.6回/月 ④授業の年間公開日数 今年度：5日/年	A	<p>【課題】保護者からの満足度は高まっている。今後は近隣地域の方々への情報発信に力を注いでいく必要がある。</p> <p>【改善策】生徒・保護者に加え、地域の方々の声を取り入れていく。また、SNSを有効に活用し、本校へ関心のある方を開拓しながら、地域に根付いた学校へと近づけていく。</p>

実施日	令和7年2月7日
学校関係者からの意見・要望・評価等	<p>保護者からのニーズが多岐に渡り、難しい対応が迫られている中、授業満足度が上昇したことは素晴らしいことである。課題を発見し、それを解決していく力を養う探究学習や資格取得のための勉強は、これからの社会で生きていく生徒たちの大きな力となる。ますます難しい時代となるが頑張してほしい。</p> <p>多様な進路を目指すことができることは、鳩ヶ谷高校の魅力の1つとなっている。また、将来なりたいものははっきり決まっている生徒が多い。進学指導における小論文指導により、生徒の文章力向上を図ることができている。この力は必ず社会に出た後に生かされるので、今後も続けていってほしい。</p> <p>教員の指導により、生徒はとても落ち着いていると感じる。一方で自転車のマナーについては、なかなか光明を見いだせないわけでは、決して教員は指導していないわけではないことは分かっている。もっと地域の方へ学校の取組を知ってもらえば、苦情も減るのではないかと。また、生徒たちにルールを決めさせるとよいのではないかとと思う。</p> <p>全国的にPTA活動の在り方が問われているように思う。文化祭終了後の花火はPTAと連携しているが、これ以外のPTAの行事への参加が少ないことが寂しいところである。もっと地域参加を促す仕掛けができるとうい。また、地元企業の求人が苦戦している。企業連携を更に深めることで、地元就職してもらうような動きが図れると、より良い環境が生まれるのではないかとと思う。</p>

